

ふるさとわがまちづくり

貝津町自治区

◆「町名の由来」

明治39年(1906)7月に伊保村と橋見村が合併するまでは殿貝津村でした。合併後、保見村の大字殿貝津となり、昭和30年(1955)3月、保見村、猿投町、石野村と合併し、猿投町の大字殿貝津となり、昭和42年(1967年)4月豊田市と合併し、昭和45年(1970)新町名が設定されるまで「殿貝津(とのがいと)」と呼ばれてきました。同年3月に町名が改正され名称が「貝津町」となり現在に至っています。

◆ まちづくりの経緯

昭和34年(1959)の皇太子のご結婚、昭和39年(1964)には東京オリンピックが開催され、戦後の混乱も治まり、貝津町もこのころより「まちづくり」が始まりました。

● 屋外活動の拠点として

町民運動会、ゲートボール、小中学生の球技、ソフトボール、自警団(現在でいう消防団)のポンプ操法訓練など様々な町内の催し事が活発に行われた「貝津町ふれあい広場」が昭和43年(1968)に町民の「ふれあいと絆」の輪を広げる一翼を担う運動広場として設置されました。

その後、遊具を備えた「ちびっ子広場」も設置され、幼児達・若い親達との「ふれあい・語り合い」深い友情を醸成する場所となりました。

寛政4年(1793)に遷宮された「北野天満宮」の1画に平成11年(1999)に枝垂れ梅、八重咲き梅、紅白の梅など6品種の苗木123本が植樹された「北の梅園」が造園され、区民の



北の梅園



「ふれあい」の輪を広げ、「東風吹かば匂い起こせよ梅の花、主なして春を忘るな」文学の拠点をなしています。

● 屋内活動の拠点として

高齢化に伴い、老人クラブおよび婦人会(現在の女性会)の活動を主とした舞台、料理講習会などができる多目的な設備を備えた「区民会館・老人憩いの家」が平成6年(1994)3月に新築されました。

また、昭和初期に名古屋の学校を移築し建てられた公民館は、当時、町内は養蚕業が盛んで繭の集荷場としても使用され、再三改造されてきましたが、その役目を終え、平成18年(2006)に2階建ての新貝津公民館が新築されました。

自治区内の12の諸団体と区民のコミュニティ活動の拠点となりました。

● 貝津町地内の周辺環境について

昭和45年(1970)中京大学が開校。平成9年(1997)には中部海外技術者研修センターが開館されたことから教授、職員、学生および海外技術研修生との交流により新しい文化が吹き込まれるようになりました。

● 貝津町地内の周辺環境について

かつては国鉄バス、名鉄バスが通り挙母(豊田)、瀬戸、岡崎、名古屋、足助へと行くことができましたが、自動車利用者の増加によりいずれも廃止となりました。

昭和63年(1989)愛知環状鉄道が開通し、平成17年(2005)に貝津駅が開業しました。

また、昭和52年(1979)に名鉄豊田新線が開通したことにより、免許の無い交通弱者、近隣の街へ行き来する人も、不便が解消されました。

平成11年(1999)には、市道浄水貝津線の道路拡幅と新向畑橋の竣工により豊田市街への交通も速やかに行き来できるようになりました。



◆ わがまち貝津町と町名の由来

平成21年4月現在の自治区のデータは右下のとおりです。自治区役員は、副区長、会計以下4部、1委員会と12隣組及び老人クラブをはじめとする13の支援団体で構成されています。

平成5年10月第7号「貝津だより」(平成4年7月発行)の寄稿文に「先人が遺してくれた日常生活の5の心得」として

- 1 「はい」と言う素直な心
- 2 「すみません」と言う反省の心
- 3 「私がおかしい」と言う奉仕の心
- 4 「おかげさま」と言う謙虚な心
- 5 「ありがとう」と言う感謝の心

の古今無双の教えが貝津町自治区民の心の中に脈々と流れているからでしょうか、貝津町は人情味の厚い「住みよいまち」とであると記述されています。

人情味豊かな「住みよいまち」の自治区民は、伊保小学校区運動会では再三再四の優勝。なかでも平成5年(1993)には、貝津婦人消防クラブが愛知県代表として横浜市で開催された全国大会に出場し、また平成9年(1997)には貝津町消防団が豊田市代表として愛知県大会に出場し、住民の意気を発揮し活発な活動を展開しています。

昭和34年(1959)9月の「伊勢湾台風」以降大きな災害も無く、また農産物の被害も無く、町内には63の防犯灯が輝き、これといった人身災難も無い安全なまちです。

平成5年(1993)4月には下水道設備も完備し、平成4年(1992)に始まったゴミの分別収集への町民の協力など、清潔な「明るいまちづくり」をしてきました。

先人の先見の明と並々ならぬ努力と住民の協力により「まちづくり」が成され、「すんで良かった貝津町」、「住んでみたい貝津町」今後もこれをモットーにして貝津町自治区民は「まちづくり」に邁進していきます。



貝津町公民館

貝津町自治区データ

(H21.4現在)

設立：昭和42年
世帯数：195世帯
：171世帯(昭和54年)
組数：12組
面積：1.768K㎡
自治区たより：「貝津だより」
回覧：月2回
ちびっ子広場：1箇所
ふれあい広場：1箇所
防犯灯設置箇所：58箇所
小学校：伊保小学校区
自治区会館：貝津町公民館